

全国男子駅伝 連覇、最多9回目 **優勝** 記録 2時間17分10秒(大会新)

在広島信州県人会の皆様方による祝勝会。ありがとうございました。(1/22)

第28回 全国男子駅伝大会チーム長野 祝勝会



区間(距離km)	第1区(7.0)	第2区(3.0)	第3区(8.5)	第4区(5.0)	第5区(8.5)	第6区(3.0)	第7区(13.0)
選手名	永原 颯磨	猿田 創汰	伊藤 大志	山口 竣平	吉岡 大翔	小林 睦	上野 裕一郎
チーム順位・記録	2 19分41秒	3 28分30秒	4 52分18秒	1 1:06分20秒	1 1:30分12秒	1 1:38分59秒	1 2:17分10秒
区間順位・記録	2 新19分41秒	23 8分49秒	8 23分48秒	1 14分02秒	1 23分52秒	3 8分47秒	12 38分11秒
区間最高記録	新 19分39秒	8分17秒	23分30秒	新 14分02秒	新 23分52秒	8分36秒	37分26秒
Top通過チーム	兵庫	兵庫	京都	長野	長野	長野	長野・大会新
同記録	19分39秒	27分56秒	51分58秒	1:06分20秒	1:30分12秒	1:39分59秒	2:17分10秒

役職他	氏名	所属他
団長	内山 了治	理事長・長野高専
副団長	北島 正孝	副会長・芝上建設(株)
監督	高見澤 勝	佐久長聖高校
コーチ	牛山 通高	中野土建(株)
コーチ	帯刀 秀幸	上田西高校
コーチ	丸山 健志	駅伝副部長・丸山農園
コーチ	宮入 修一	竹内製作所
コーチ	今村 善隆	緑ヶ丘中学校
コーチ	伊藤 秀充	松島中学校
支援コーチ	中津 敦喜	強化部長・須坂創成高校
支援コーチ	掛川 和彦	強化部・丸子修学館高校
支援コーチ	三代澤芳男	強化部・豊科高校
トレーナー	秋山 友彦	あきやま整骨院
主将7区	上野 裕一郎	セントポールクラブ
補欠	松崎 咲人	東海大学 4年
3区	伊藤 大志	早稲田大学 2年
5区	吉岡 大翔	佐久長聖高校 3年
1区	永原 颯磨	佐久長聖高校 2年
4区	山口 竣平	佐久長聖高校 2年
補欠	松尾 悠登	佐久長聖高校 3年
6区	小林 睦	富士見中学校 3年
2区	猿田 創汰	堀金中学校 3年
補欠	田中 秀磨	長野日大中学校 3年
補欠	滝澤 秀斗	赤穂中学校 2年

優秀選手賞 ジュニアA優秀選手賞 ジュニアB優秀選手賞
 山口 竣平 吉岡 大翔 新妻 遼己(兵庫・平岡中)
 優勝チーム監督・コーチ賞 監督：高見澤 勝、コーチ：牛山 通高、帯刀 秀幸

お礼

代表理事・理事長、男子駅伝団長 内山 了治
 平素より、本協会に多大なるご支援、ご指導ご鞭撻を賜り御礼申し上げます。また、本日はお忙しい中、ご出席いただき本当にありがとうございました。全国男子駅伝並びにこのアワードはともに2020年以來3年ぶりの開催となりました。今年度の本協会競技面は、世界選手権に3名が出場、U20世界選手権5000mで吉岡君が7位入賞の他、栃木国体、全国小学生交流大会、全日本中学、全国高校総体、全国高校定通、全国高専並びに日本学生など、すべてのカテゴリーでこれまでのコロナ禍を晴らすかのような活躍がありました。更に、年末の長野東高校の女子全国高校駅伝初優勝、男子は佐久長聖高校が日本高校最高新記録で2位入賞を果たし、この勢いを、1月の全国女子駅伝11位、そして男子優勝に結びつけることができました。これらも偏に多くの皆様方のご支援ご指導の賜であり、心から感謝申し上げます。そして、男子駅伝の高見澤監督が掲げる「チーム・関係者全員で！一丸となって！」という体制を、県内の指導者が共有し各種目の指導場面で本気・全力で指導にあたっている成果でもあると思います。これまでの先達の皆様方に改めて感謝申し上げ、応援していただいている多くの県内外の皆様方に心から厚く御礼を申し上げます。
 この勢いを、2028 信州やまなみ国スポ・全障スポでの天皇杯・皇后杯獲得に向け、世界で活躍できる競技者育成・競技力向上に励む所存ですので、今後とも変わらぬご支援、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



NAA Athletics Awards 2022

THE SAIHOKUKAN HOTEL
 Nagano City
 February 18, 2023. from 16:00





都道府県対抗男子駅伝
長野県選手団の皆さん
優勝おめでとうございます

長野県知事 阿部 奇一



1月22日に開催された、天皇盃 第28回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会において、長野県チームが、2大会連続、全国最多となる通算9度目の優勝を達成されました。選手及び監督・コーチ・役員の皆さん、誠におめでとうございます。

私自身、沿道で応援させていただき、選手の皆さんの風を切って走る気迫や胴上げでの歓喜を肌で感じることができ、大きな感動と勇気をいただきました。

今大会の優勝は、一人ひとりの選手が、自分の力を存分に発揮していただいたことはもとより、監督・コーチ・役員の一丸となったチームワークの賜物であり、ひたむきに糧をつなぐ姿は、「駅伝王国信州」の存在感を力強く示してくれました。

「在広島信州県人会」をはじめ、応援いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

選手の皆さんには、今回の優勝を契機に、より一層練習に励まれ、次の目標に向かって更にご活躍されますよう祈念申し上げます。

来年の大会でも、長野県選手団が「ふるさと信州」のため、元気な走りを披露してもらえることを大いに期待しています。

お祝いのことば

公益財団法人
長野県スポーツ協会
理事長 林 泰章



天皇盃 第28回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会において、優勝された長野県チームの皆様、誠におめでとうございます。

長野県チームは、2時間17分10秒の大会新記録で大会最多9度目の優勝を飾りました。この素晴らしい快挙は、県民に大きな感動を与えていただくとともに、「駅伝王国長野」の名を全国に知らしめたものと存じます。

今回のレースは、全国高校男子駅伝で準優勝の佐久長聖高校生と中学生の若い選手たちがつくったリードをアンカーの大ベテラン・上野裕一郎選手が確実に守り切って堂々の連覇を果たすという長野県チームらしいチームワークによる優勝でした。

この快挙は、長野県で開催する第82回国民スポーツ大会において天皇杯、皇后杯獲得をめざし、日々努力を重ねている本県アスリートの皆様に力強い励み、勇気、パワーを与えたものと思います。

長野県チームの皆様には、今後とも一層精進され、全国都道府県対抗駅伝3連覇、10度目の優勝を果たされることをご祈念申し上げ、お祝いのことばとします。

祝 辞

信濃毎日新聞社
代表取締役
社長 小坂 壮太郎



この度の天皇盃 第28回全国都道府県対抗男子駅伝での長野県チームの優勝、心よりお祝い申し上げます。大会新記録に加え、9回目の優勝という最多記録更新も花を添え、長野県民として大変誇らしく思います。

全国トップクラスの実力を持つ高校生選手がそろそろ布陣は大会前から上位入賞を期待させ、立教大を55年ぶりの箱根駅伝出場に導いた上野裕一郎監督がアンカーとして走ること大きな話題となりました。

中高生から大学生・社会人まで世代を超えた選手育成が地域にうまく根付いていることが、長野県の強さの源泉とされています。6区の中学生・小林陸選手が「お願いします！」と大声でたすきを託し、「オーケー！任せろ！」とアンカー・上野選手が応じた場面は長野県チームの強さを象徴しているシーンとして大変印象的でした。

こうした「駅伝王国・長野」の伝統に、信濃毎日新聞社が主催する県縦断駅伝競走がひと役買っているのであれば、この上ない喜びです。県内陸上競技関係者の皆様の日頃のご努力に敬意を表するとともに、今後も長野県チームの頑張りが優勝に結実することをご期待し、お祝いの言葉といたします。

次 第 (進行 葛城 光一 副理事長)

- 開会の挨拶 長野陸協 萩原 清 会長
- アスレックス・アワード (競技者は別途行う)
特別功績章 奥アンツーカ(株) 様
功労章、指導者功績章、地域スポーツ振興章
- 天皇盃 第28回全国都道府県対抗男子駅伝 優勝報告
- 感謝状贈呈 在広島信州県人会 様
近畿長野県県人会 様、京都長野県県人会 様
- 祝 辞
長野県副知事 関 昇一郎様
信濃毎日新聞社 代表取締役社長 小坂 壮太郎 様
- 乾 杯 長野県議会議員 議長 丸山 栄一 様
ご歓談、テーブルスピーチ、記念品贈呈他
長野県教育長 内堀 繁利 様
前長野市長 加藤 久雄 様
前衆議院議員 小松 裕 様
長野商工会議所会頭 水野 雅義 様
NPO法人信州駅伝サポート会理事長 伊藤 利博 様
- 中締め 信越放送取締役テレビ局長 水澤 文一 様
- お礼の言葉 長野陸協 北島 正孝 副会長・駅伝部長
お開き

総合成績 1位 長野 2:17:10	2位 埼玉 2:17:35	3位 東京 2:18:20	4位 千葉 2:18:21
5位 岡山 2:18:28	6位 京都 2:18:32	7位 広島 2:18:38	8位 兵庫 2:18:45



閉会式後の選手団
2023/1/22 広島



1区 永原 颯磨 (佐久長聖高校2年)



4区 山口 竣平 (佐久長聖高校2年)



5区 吉岡 大翔 (佐久長聖高校3年)

この2枚の写真は中国新聞社提供